

「お店同士」「地域ぐるみ」の消防訓練のやり方



1 事前の準備をしましょう！

(1) 訓練の想定

(例)「居酒屋〇〇の厨房で天ぷら鍋に火が入り、天井に燃え移りそう」

どこの	何が	どれくらい燃えている

(2) 役割分担



死傷者を出さず、隣近所へ燃え移らせないためには、次のア～エの行動を直ちに同時並行で行うことが重要です。火元の関係者だけで対応できない場合に備え、「お互い様」で駆けつけて応援してくれる体制をつくっておきましょう。

ア【避難誘導】…「あわてずに、低い姿勢で、直ちに外へ避難してください！」等と呼びかける人

火元 (以下同じ)	駆けつけてくれるお店やお宅 (以下同じ)

イ【初期消火】…消火器や濡れタオル等で消火する人

--	--

ウ【119番通報】…「〇〇区××町の〇〇で火事です！怪我人もいます！」等と消防へ通報する人

--	--

エ【連絡(周知)】…「火事です！助けてください！」等と大きな声で隣近所に危険を知らせる人

--	--

(3) 消防署の支援



訓練用の消火器の貸出しやアドバイスに伺います。裏面をご参照の上、ぜひ事前にご相談ください！

2 訓練をやってみましょう！

火災を発見するところから訓練を始めてください。時間は10分程度を目安とし、怪我や事故等に十分注意してください。



3 訓練後に、「よかったところ」や「不安なところ」等を確認しておきましょう！

よかったところ	不安なところ・改善策等